

平成26年度

発達障がい者就業支援  
コーディネーター事業報告  
(27年1月末現在)

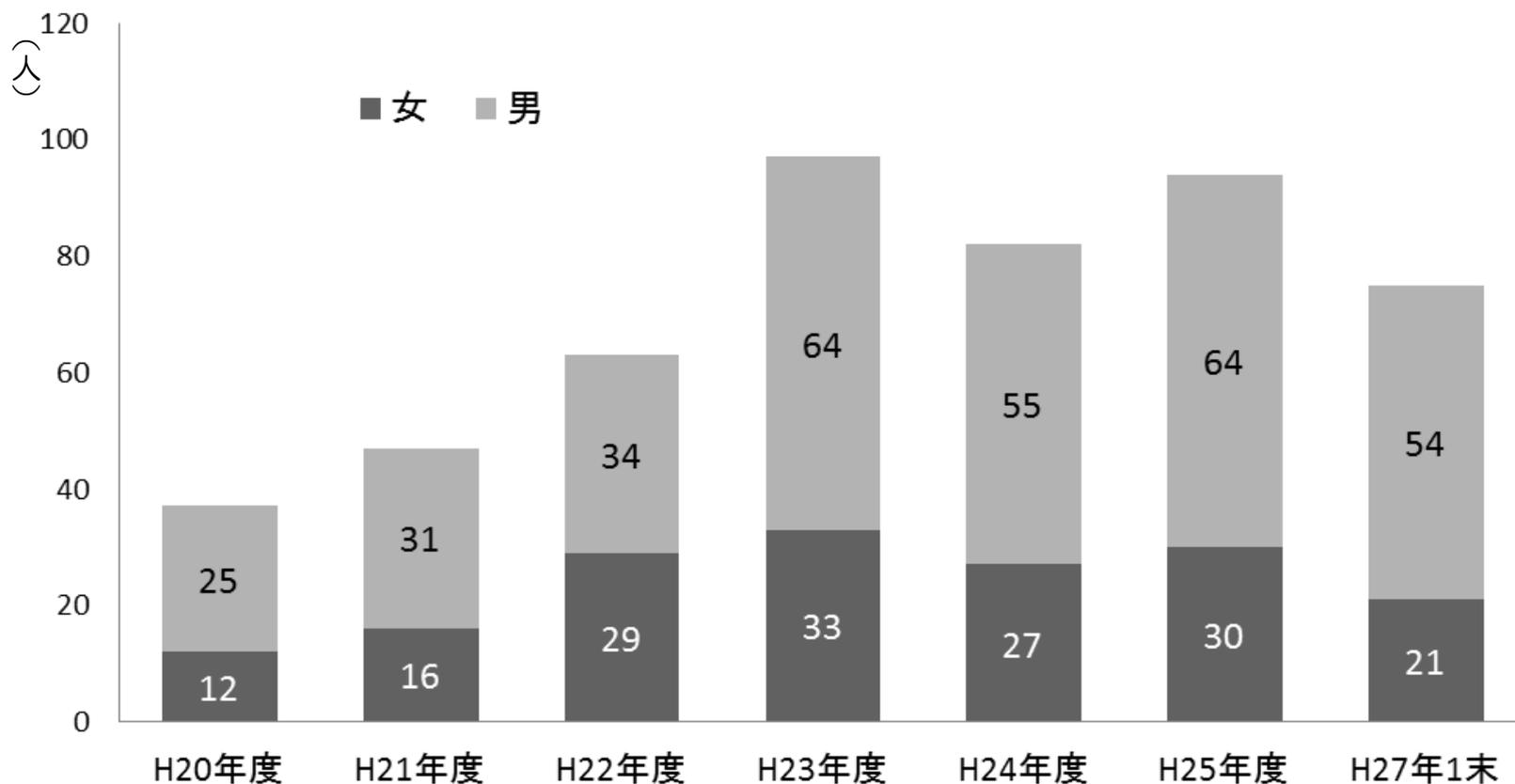
大阪市障がい者就業・生活支援センター

# 平成26年度新規相談者

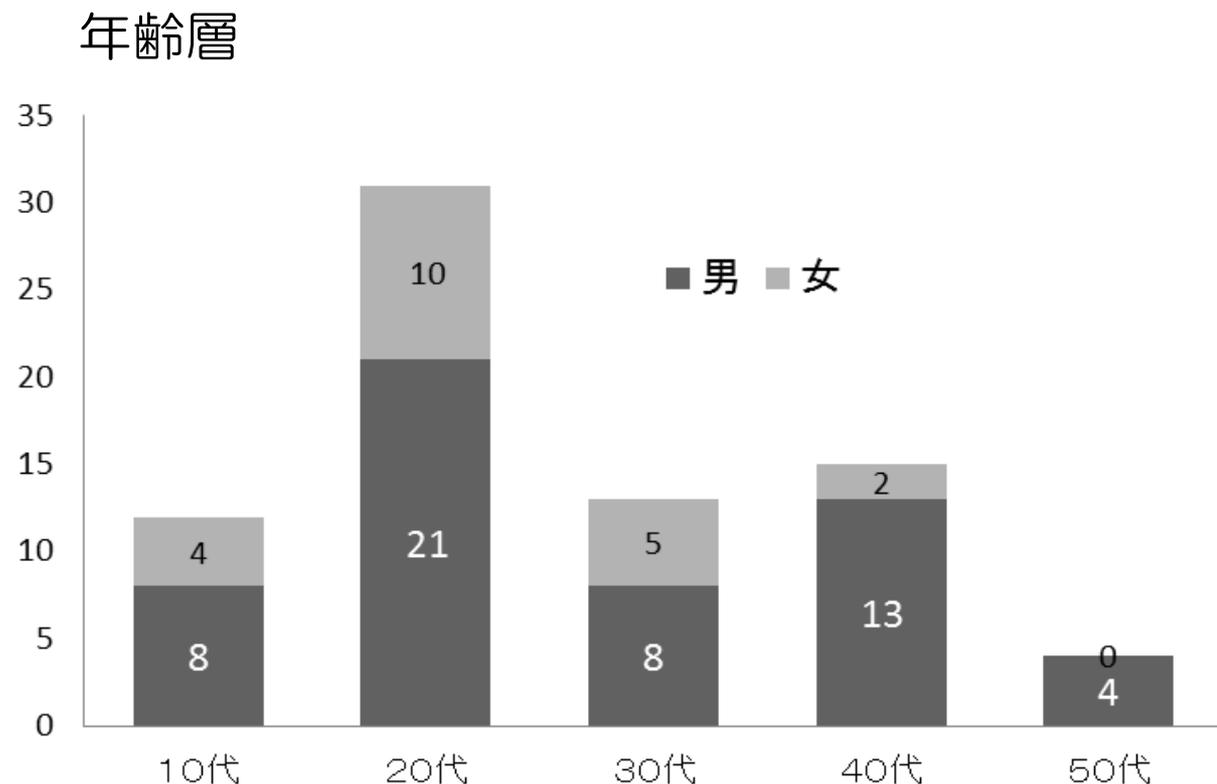
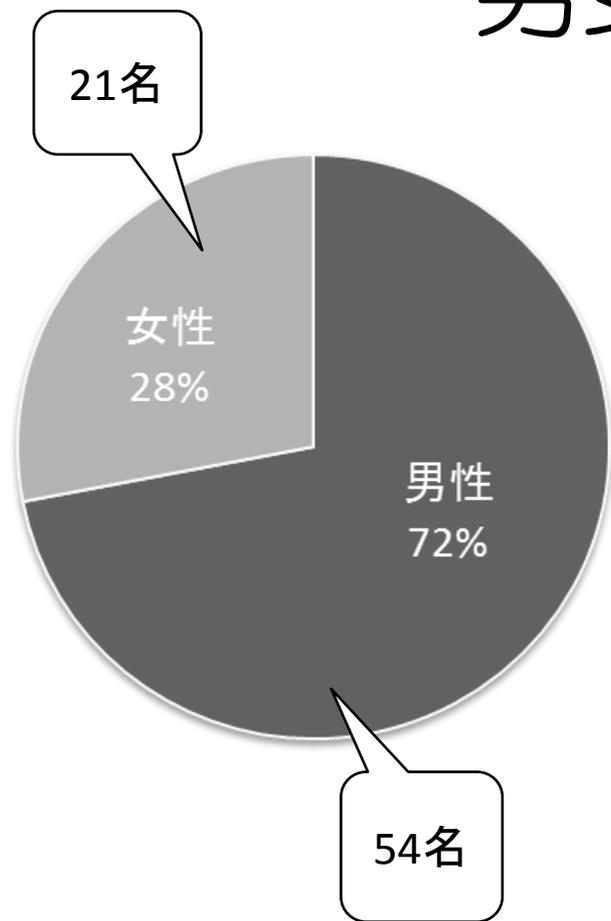
# 平成26年度新規相談者の状況

## 相談者数の変化

新規 相談者	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	27年 1月末	相談者 合計
	37名	47名	63名	97名	82名	94名	75名	495名



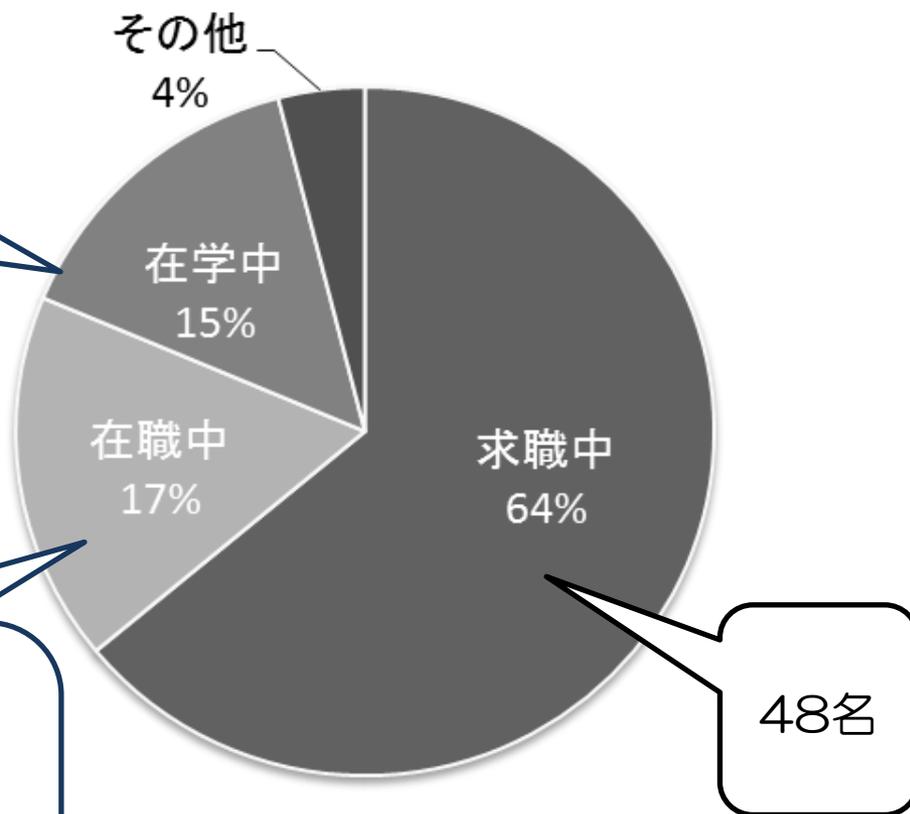
# 平成26年度新規相談者の 男女内訳と年齢層



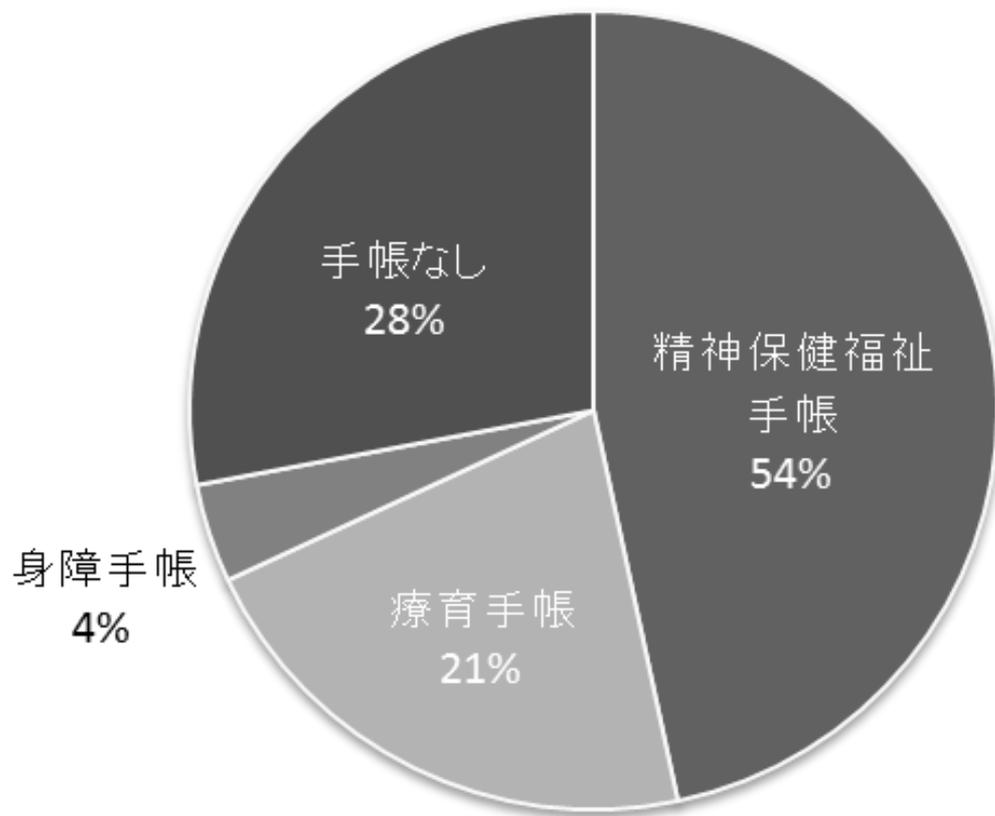
# 新規相談時の相談者の状況

在学者 (11名) 内訳	
高等学校	3名
専門学校	1名
専修学校	2名
大学	5名
特別支援	0名

在職者 (13名) 内訳	
障がい者雇用	4名
一般雇用	8名
就労継続A型	1名

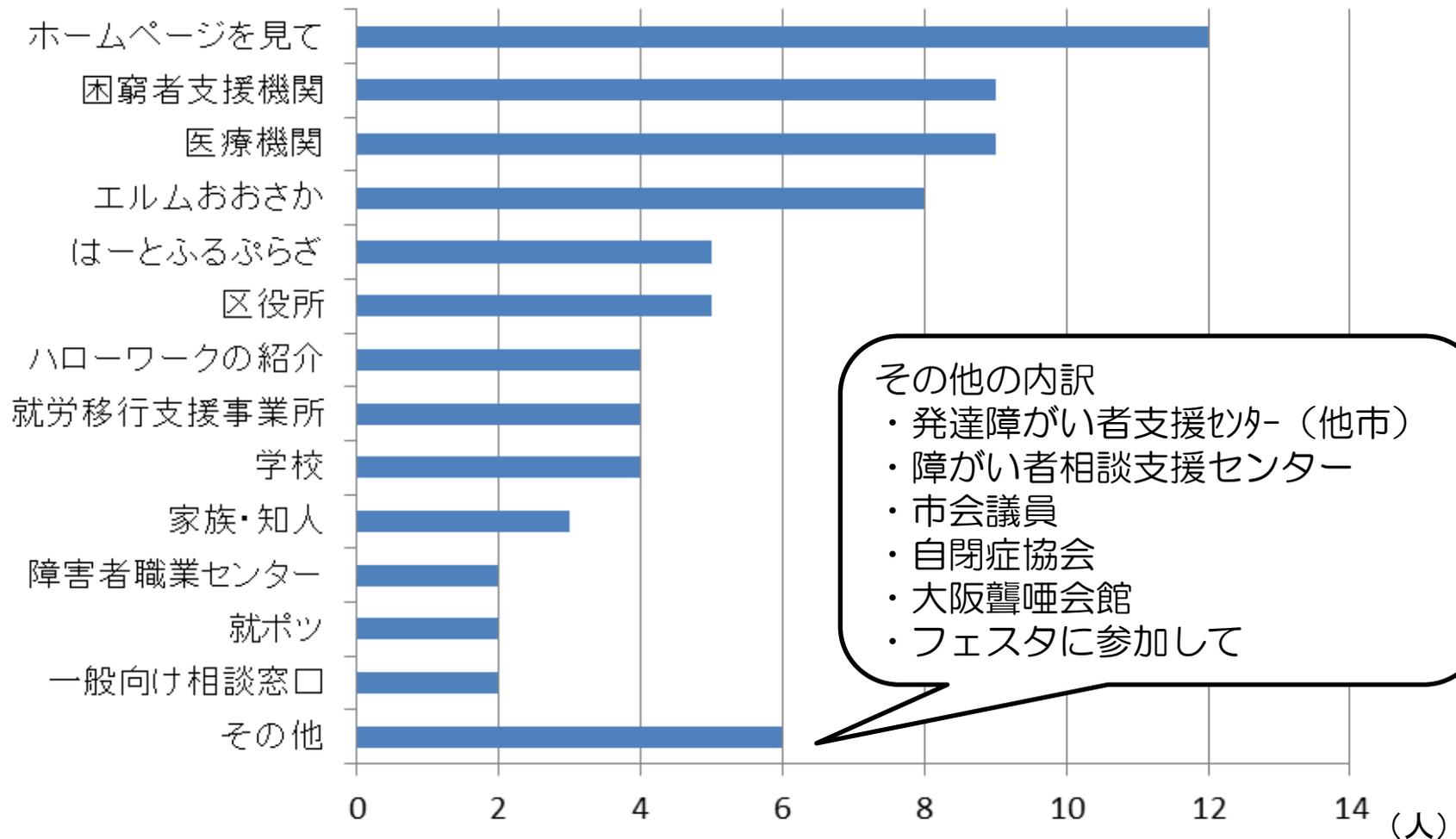


# 新規相談時に所持していた 障がい者手帳の種類

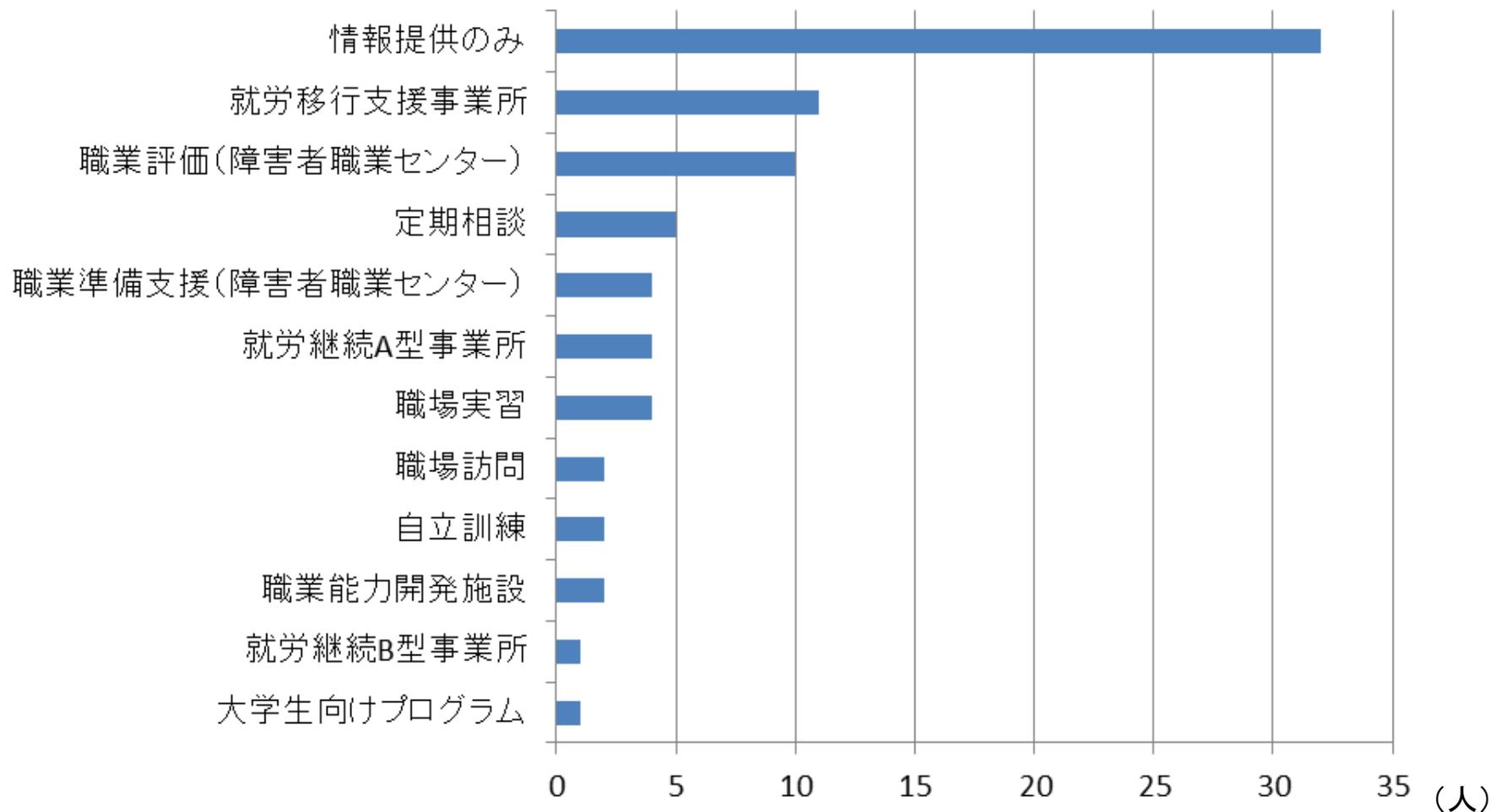


- ・ 発達障がいの診断はあるが手帳取得を迷う人の相談。
- ・ 相談時に発達障がいの診断がなかったのは75人中2人。

# 新規相談者の相談経路 (どこから紹介されたか)

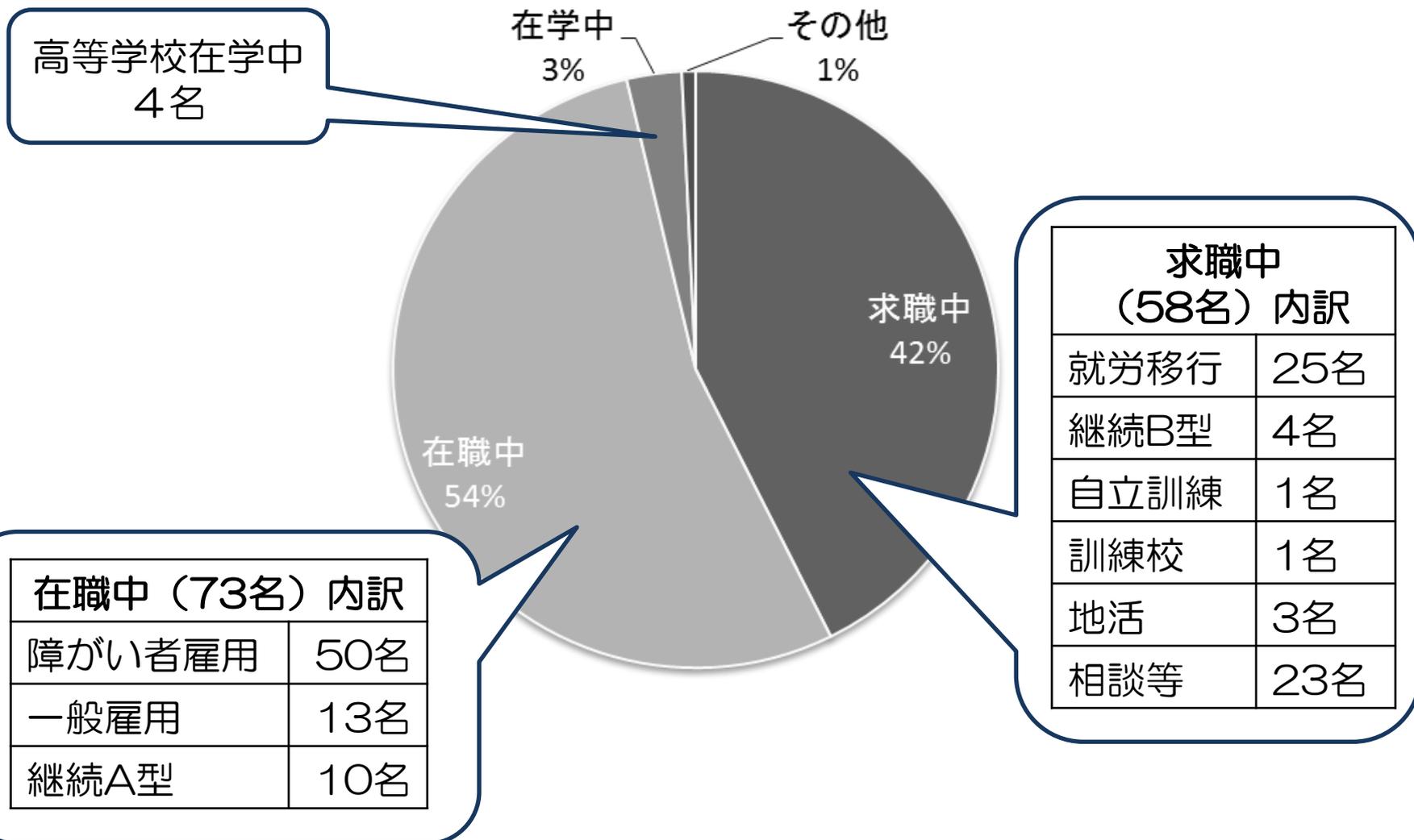


# 新規相談者への関わり (どんな社会資源につながったか)

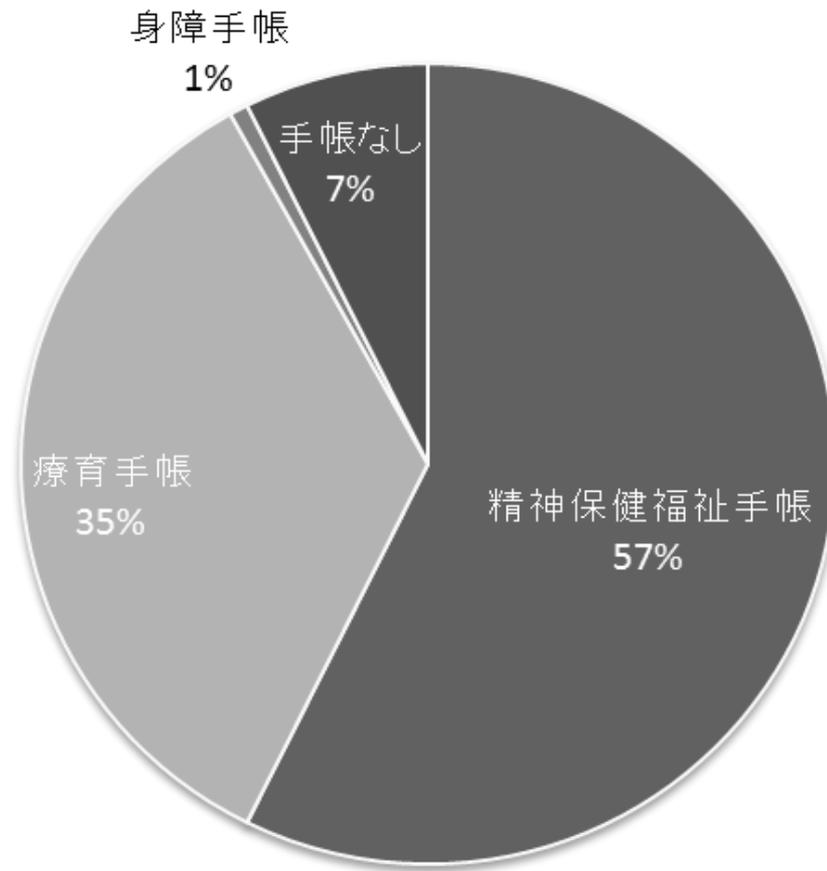


継続相談者  
(平成20年～25年度に登録)

# 継続相談者（136名）の状況

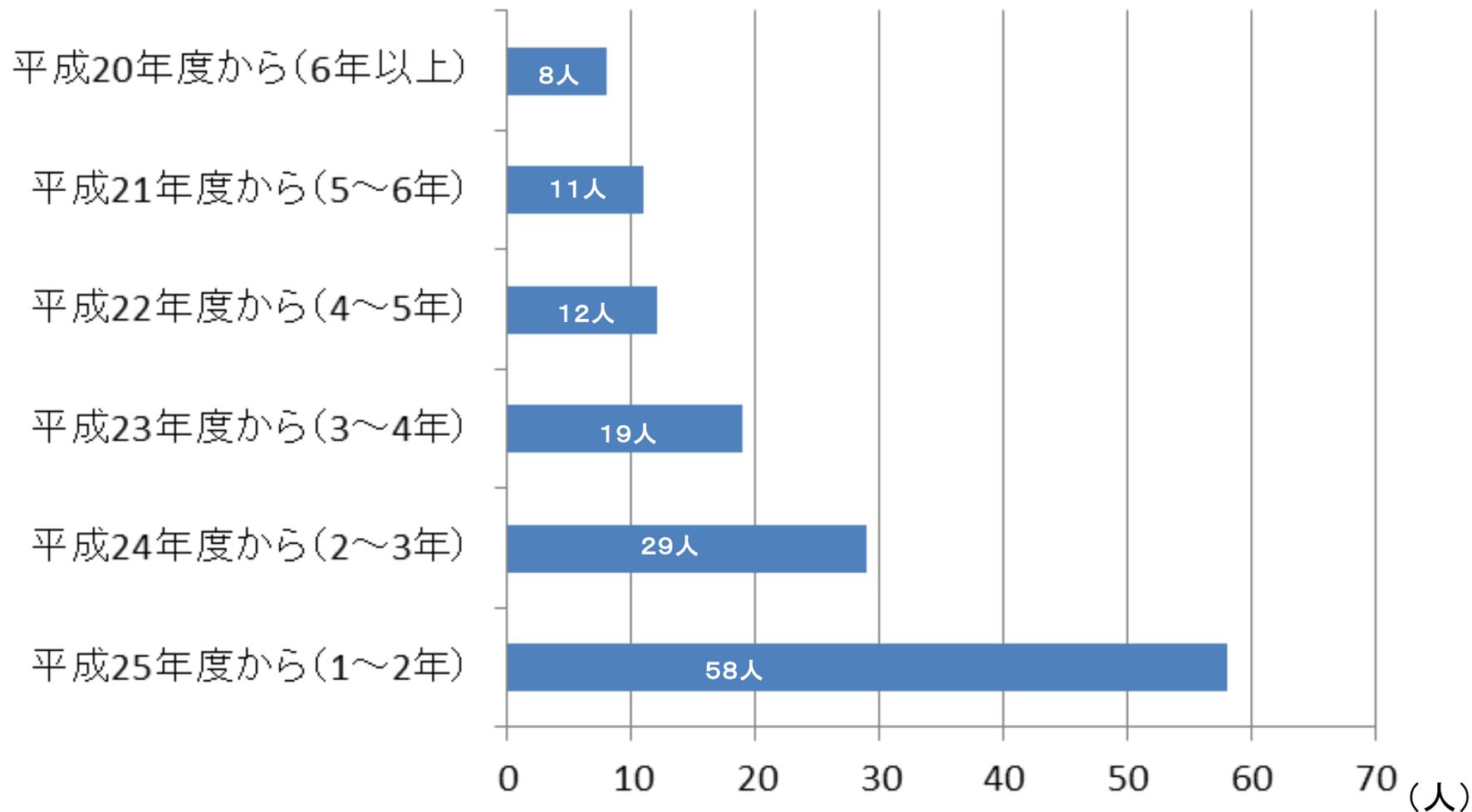


# 継続相談者が所持している 障がい者手帳の種類



- ・手帳を所持していない相談者は136名中10名。  
診断はあるが手帳は取得せず。  
クローズでの就労をしている等。

# 登録期間

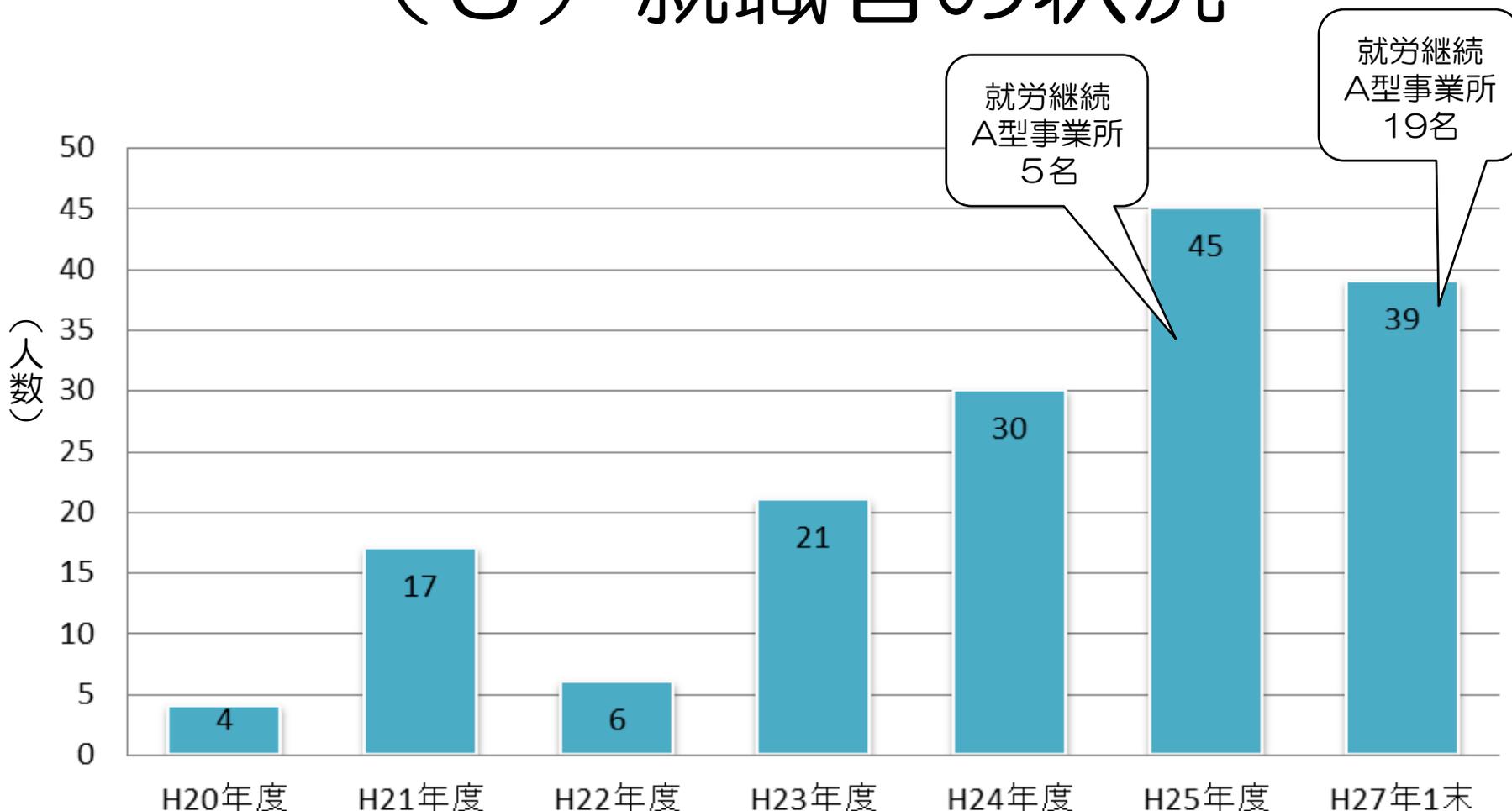


# 平成27年1月末 登録者の状況

登録者数		211名
内訳	①前年度からの 継続相談者	136名
	②平成27年度 新規相談者	75名

- ・「登録者」とは、継続した就労支援を希望している者
- ・5年以上継続して関わっている登録者の存在  
→安定すれば関わりは薄くなるが、困った時に相談できる安心感。

# (3) 就職者の状況



- ・ 就労前に訓練等の職業準備を行うことで、確実な就労につながっている。
- ・ 職業準備は特性の整理、苦手を補う工夫、人との関わり方の学びなど体験を通しての学びが中心となるので、数か月～数年と時間がかかることが多い。
- ・ 就労継続A型事業所が急増（市内に70カ所以上）。利用を選ぶ人が増加。